

科目名 Course Name	栄養教諭論 Teaching Nutrition			ナンバリング No.	L2-007		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	駒場啓子						
連絡先(質問等)	社会福祉棟 2 階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択 (教職課程必修: 栄養教諭二種免許)						
関連 DP	DP2 DP3 DP5						
授業の概要と到達目標	<p>学校給食の歴史および栄養教諭創設の背景、現在子供たちが抱えている食の問題を探り、目指す子供たちの姿を明らかにした上で、生きた教材となる学校給食のあり方や食に関する指導の全体計画に基づき、学校給食の時間や、教科等での目標および指導内容とその注意点、家庭・地域との連携について学習する。また、学校給食を教材として、食に関する指導案の作成と発表、模擬授業等の実践実習を行い、具体的な「食に関する指導」の方法を学ぶ。</p> <p>①飽食、多様化、個食化の中で、食生活の自己管理能力の必要性について考えを述べることができるようにする。</p> <p>②偏食傾向や朝食欠食の増大等、児童および生徒の食生活上の問題点を把握し、説明できるようにする。</p> <p>③栄養教諭に求められる職務内容の理解と資質の向上の重要性について理解し、学校給食を媒体に、給食が栄養指導に果たす役割について説明できるようにする。</p> <p>④児童・生徒の食に関わる健康上の諸課題の解決に向けて、全体計画の作成、実施、評価、マネジメントする力を身に付けることができるようにする。</p>						
授業の方法	主に、テキスト中心の講義形式で行うが、「食に関する指導」の教材や媒体作りに関しては、個人又はグループワークも併用する。更に、テーマをもった具体的な指導案を作成し、発表する。						
学習成果	L01						
	L02	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい食習慣の形成と自己管理能力の重要性を踏まえ、学校における栄養指導の意義について考えを述べることができる。 ・学校給食の時間、他の教科指導、学級活動、総合的な学習の時間等、学校教育活動における食に関する指導の知識・技術や手法について習得することができる。 					
	L03	<ul style="list-style-type: none"> ・発育の特徴を踏まえて、食生活と健康に関する課題をとらえ、適切な指導をすることができる。 					
	L04						
課題に対するフィードバック	給食の時間の 5 分間指導、教科等の食に関する授業の指導案を作成する。それぞれ評価し、改善点について説明する。 定期試験後に模範解答を示し、2 年次の教育実習事前事後指導の時間に説明する。						
教科書/参考図書	「四訂 栄養教諭論 一理論と実際一」(金田雅代編著・建帛社)						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●遅刻厳禁 ●授業中の飲食は禁止 ●携帯電話の使用は禁止 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 						
担当教員の実務経験	実務経験 駒場 (職種: 栄養教諭 職歴 6 年) 学習する内容全てで、栄養教諭の実務経験を生かすことができる。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前・事後学習をしっかりと行っていること。不明なことは積極的に質問すること。		10		
レポート/作品	第3回目にレポートを課す。Sの評価は、「様々な情報を収集して現状を分析し、課題を見つける。どのような食教育が必要なのか、自分の考えを述べることができる。誤字脱字がない。」である。			20	
発表	Sの評価は「指導案に基づいて、対象者に合った話し方で模擬授業を行う。」である。		30		
小テスト					
試験	第16回目に定期試験を行う。満点の条件は「栄養教諭の役割、食に関する指導の基礎的な事項について理解している。」である。		40		
その他					
合 計			80	20	

回数		授業計画
1	授業内容	学習の成果、学習方法、成績評価、授業の諸注意について 栄養教諭の役割と職務内容
	事前・事後学習	栄養教諭制度の創設の経緯について調べる。
2	授業内容	食に関する指導の基礎知識 関係法律、食に関する指導の目標
	事前・事後学習	学習指導要領における食育の位置付けについて調べる。
3	授業内容	子供の健康・栄養に関する現状と課題 *レポート「子供の健康・栄養の現状と栄養教諭の役割について」(提出は第6回目の授業日)
	事前・事後学習	様々な情報を収集して、子供の健康・栄養に関する現状と課題を調べる。
4	授業内容	我が国の食生活の変遷と学校給食
	事前・事後学習	学校給食の歴史について調べる。
5	授業内容	学校給食の実際
	事前・事後学習	学校給食の実施規準について調べる。
6	授業内容	食に関する指導の全体計画① 食に関する指導の必要性
	事前・事後学習	食に関する指導の全体計画の要素について考える。
7	授業内容	食に関する指導の全体計画② 食に関する指導の年間指導計画
	事前・事後学習	食に関する指導の年間指導計画の要素について考える。
8	授業内容	食に関する指導の実際 (指導計画、指導案の要素、評価の方法)
	事前・事後学習	様々な指導案の様式を調べる。
9	授業内容	給食時間における食に関する指導 (指導計画、指導案の作成、評価の方法)
	事前・事後学習	指導案を作成する。媒体、資料を作成する。
10	授業内容	給食時間における食に関する指導の模擬指導
	事前・事後学習	模擬指導を振り返り、改善点を考える。
11	授業内容	教科などにおける食に関する指導① 教材研究・学習指導案の作成
	事前・事後学習	学習指導案の作成
12	授業内容	教科などにおける食に関する指導② 教材研究・学習指導案の作成
	事前・事後学習	学習指導案の作成
13	授業内容	教科などにおける食に関する指導③ 模擬授業・評価
	事前・事後学習	模擬授業を振り返り、改善点を考える。
14	授業内容	個別栄養指導・相談のあり方① (肥満、痩身、食物アレルギー、スポーツをする児童生徒)
	事前・事後学習	食物アレルギー (アナフィラキシー) の緊急時対応について調べる。

15	授業内容	個別栄養指導・相談のあり方②（小児生活習慣病、障がい児、その他の疾患）
	事前・事後学習	疾病をもつ児童生徒への対応の留意点について考える。